

会津のハンサムウーマンに 出会うたび

【コースのおススメ】～八重の6つの美しさを旅のストーリー～

- 1 ひたむきな美しさ・・・幕末から明治の激動の時代を生きたその生涯
- 2 相手を思いやる美しさ・・・晩年、雨などに濡れている女学生を見ると無言で傘を差し出す姿が見られた。次代を担う女性を大切に思っていた
- 3 温活気溢れる力強い美しさ・・・夫をジョーと呼び捨てにするなど、男女が等しく平等であるという姿勢を自ら世に示した。
- 4 繊細な美しさ・・・繊細な美的感覚を生かし、茶道家として教授の資格を取得。京都に女性向けの茶道教室を開いた。
- 5 気高く、凛とした美しさ・・・籠城戦の際、髪を断ち、男装しペンサー銃を持って銃撃戦に参加。『悪妻』と罵られても気にしない。
- 6 おもてなしの美しさ・・・八重の母親さくは大変賢明な女性で、会津藩の婦人の中でも先駆者であったといわれており、山本家は来客の多い家であった。これはそのおもてなしが行き届いていたからだと言われている。

1

～女性杜氏に出会う～
・鶴乃江酒造（会津若松市）

・困難に屈しない、ひたむきな美しさに出会う。
・酒蔵という封建的な男性社会のなかで、果敢に挑戦するハンサムな女性の姿に出会う。

2

会津若松市内の移動は、
ハイカラさん（まちなか周遊バス）で

相手を思いやる美しさに出会う。
女性ドライバー

所要時間45分（バス）

3

～会津女性を作る
（切り盛りする）店でお食事を～
・牛乳屋食堂（会津若松市）

・女性の“男勝りな強さ”
・商売を続けるのに必要な、気力・体力が溢れている“たくましい女性”に出会う
・代々女性が店主を勤める店で、会津の食を楽しむ。

所要時間45分（電車、バス）

4

～実用性のあるものを作る～
・樹ノ音工房（会津美里町）

女性の繊細な美しさ
・形に残る思い出を作る
・女性の先生に教えてもらう。
・会津でしかできない経験。修学旅行とはちょっと違う体験。

所要時間60分（バス）

5

～女性の護身術を学ぶ～
・会津日新館

・気高く、凛とした美しさを学ぶ
・弓道・茶道・座禅体験を通して、戊辰戦争や娘子隊、山本八重を知り、会津の教え（什の掟、ならぬものはなりませぬ）を学ぶ。

所要時間50分（バス）

6

～温泉へ～
・東山温泉「芦名」

・自然体のおもてなしの美しさ
無理せず、温泉でゆっくり時間をすごす。
緩やかな雰囲気を感じるいろりで ゆっくりとお食事をお楽しみください。会津を愛する芦名。四季折々の旬な会津の食材でもてなしてくれます。炭火の柔らかな火は素材のうまみを引き出し、微かな炭の香りに余韻を楽しむ。いろりがある幸せ。あなたも感じてください。

會津価値創造フォーラムは、会津地域を取り巻く厳しい社会経済環境の中、「Aizu as One（会津がひとつに）」の観点で、会津の様々な資源等を活用して新たな価値を創り出す活動を、会津17市町村の行政職員と民間企業等の有志により構成されるメンバーで検討・推進している活動体です。フォーラムでは大きく3つの分科会に分かれて活動しており、私たち第3分科会では「This is Japan! 観光促進プロジェクト」をテーマに検討してきました。

この度、私たちの分科会での検討成果として4つのモデルルート案を取りまとめました。会津にお越し頂いた方々に、会津で暮らしている私たちが是非とも楽しみ味わって頂きたい会津の良さを五感で体感頂き、「また来たい！」と思って頂けるようなルートを皆で考えたものです。

